PICKIN' SINGIN' GINZA Rocky Top かわら版 第121号

2010 11.9 発刊

Yeahマスター No

UFOを信じるか?の巻 作 チーフ井上

1995年 箱根フェスに向かう車中にて…

拝啓 November

今年もあと2ヶ月弱ですよ! あのくそ暑かった夏が嘘だったように、ちゃんと冬に向かっております。「寒いねー」という囁き とかいう歌をどこかで目にしたなー。人に音楽に心を合わせてホットな気持で年を越そう!

新年会などパーティー受付中

マスター田口の不幸デラックスコーナー!

twitterって何だ?の巻……パソコンをはじめデジタルな世界に全くうとく、しかも覚えるのが大嫌いというマスター田口。以前もロッキーにパソコンをついに導入する際パソコンの著書を多数執筆しているブルーグラッサー**水吉さん**に「色々教えてもらいたいのでよろしく」とマスター田口自ら頼んだにもかかわらず などと切れまくるという失態を見せていた。そんなマスターが幼なじみのバンジョー弾き早川**流吉**さん宅でtwitterについて教わりに行った。

と大げんか。だがその後無事twitterできる状態になり、それからは**つぶやきまくり**。もともとぼやきの天才だけあって盛んにつぶやいていたが、やがて冷たく放置されるようになり、あまりのさみしさに「**釣友募集!**」と出してみたが全く反応がないとのこと。不幸はつづく…

スタンレー丸山情報!

この年にして親知らずが生えてきた!!

…スタンレー丸山(32)が、ここ最近、久々に生えてきた親知らずに悩まされている。行きつけの歯医者からも「うちより大学病院に行った方がいい」と治療拒否されるほどの大物らしい。あまりの痛さにロッキーを早退するほどの事態となっている。すぐ抜けばいいと思うのだが腫れが引くまでは抜かない方がいいらしく鎮痛剤を飲んでしのいでいる。「万歩計もついてますよ!」と自慢のi-Phoneも痛みに耐えて家で引きこもった日は見事に0を表示。酒も5日以上抜くという前代未聞のスタンレーの今後の運命はいかに… つづく

チーフ井上ファーストソロアルバム発表!

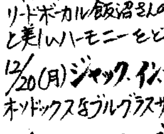
「平和の詩が聞こえる」

¥2500(税込み)

妙に元気無様な顔のジャケット写真

全12曲入り、62分という大作だ。フォーク、ロック、沖縄、レゲエ、ボサノバ、ポップスetc.あらゆるエッセンスを取り入れ、この気妙に平和な時代に大上段からメッセージをたたき込んだ快作。ロッキーでも販売してますのでよろしくです! ジャケット写真は日本のフォークファンならずも「あ!人間なんてだ!」とばれてしまうポーズがおつだ。43才にして初のフルアルバム。是非とも色んな人に聞いてもらい思いを伝えたい!

今年もやって来ました! 年末恒例 クリスマスウィーク



1年って早いですねー もう年末。是非遊びに来てね。

◎クリスマスプレゼント多数用意! じゃんけんコイン総取大会もやります!

- 12/17(金) **ジェリーフィッシュバンド**…歌姫カルタンのキュートな魅力にバックメンバーのキャラのこさがいい。バンジョーのテクはすごいぞー!
- 12/18(土) **APEX**…P.P.M他モダンフォークを心ゆくまで
- 12/19(日) **VANQ**…モダンフォークカルテット日本一バンド リードボーカル飯沼さんの日本人離れしたハイトーンボーカルと美しいハーモニーをどうぞ!
- 12/20(月) **ジャック・イン・ザ・グラス&オールドMcストリングバンド** オーソドックスなブルーグラスサウンド、オールドMc.ケンさんのHなMCを楽しんでください!
- 12/21(火) **ニューウッディバル&耳寄** ギター佐々木史郎さんの華麗なソロプレイは必見だ!
- 12/22(水) **タヒチクラブ&ブルーボネッツ** スウィングブラスNo.1のタヒチと、若手女性バンドブルーボネッツのジョイント。なんてったってギャル2人をはいているボネッツ! これは応援しなくちゃ!
- 12/23(木) **パートパーミツオン&PPMシンガース** とにかくP.P.Mだけの夜。思いっ切りPPMしてください
- 12/24(金) **アッシュグローブ**…ロッキー人気No.1のブルーグラスバンドだ。リーダー北農さん(マンドリン)の山本さん(ギター)いじりも必見だ!
- 12/25(土) **尾崎ブラザーズ&介護班(ニューアップルシード)** ブルーグラス殿堂入りを果たした尾崎ブラザーズ、日本のブルーグラスの歴史を感じながら、サポートするニューアップルシードの素晴らしい演奏に酔いしれよう!

予約受付中!

チーフ井上の音楽よもやま話④

…人生で出会った音楽、それはまさに縁である。その縁の糸をたどり、いかにして今の人生につながっているか?というよもやま話を書き綴りたいと思います。

ピンクレディーショックそしてザ・ベストテン…フィンガー5から始まった歌謡曲命の幼少時代。やがて僕いや僕ら少年少女全てに多大なる影響、社会現象をまき起こしたグループ。それが**ピンクレディー**だ。色んな意味で多感な僕にとって最初のピンクレディーショックは歌というより**ミーちゃんの太もも**だった。♪ペッパー警部!♪の時に上げるミー姉様の健康的なムチムチした太ももに完全にノックアウトされる僕でした。ピンクレディーが夕食時のTVに出てくると、なんかやばいものでも見てるような気まずい空気になり、親父も「なんか変なのが出てきたな。ウォッホン!」などと咳ばらいをしつつも、ミーちゃんの太ももにやられてるのは明らかだった。少年達にとっては憧がれのお姉様(申し訳ないが圧倒的にケイちゃんよりミーちゃんがもてた)、少女達には憧がれのみならず同化したい!つまり**ピンクレディーになりたい!**という症候で、つまりあの頃、女の子2人いたら**即席ピンクレディー**誕生、という状態でした。考えてみたらすごい! だってホームビデオのない時代に「ピンクレディーふりつけ本」をたよりに、そしてクラスのみんなで、ああでもない、こうでもないと情報交換&切磋琢磨しながらほぼクラス全員が正確なふりつけで踊れたなんて! しかも若い脳で覚えたものは一生忘れないもので、今だに同世代の女性とカラオケに行ってピンクレディーをリクエストすると誰もが完璧に踊れるのだ(笑) そしてピンクレディーと時を同じくして生まれた歌謡番組があった。**ザ・ベストテン**だ。久米宏と黒柳徹子のちぐはぐしつつナイスコンビのテンポいい司会にあおられ、そして子供の頃やたら気にする誰が一番か?という競争心を燃え立たせられ、下の順位から次々に出てきてその上は?その上は?と興味全開にさせるあのドキドキ感。その全てが少年少女時代の僕らのハートをわしづかみにした。そして再び言うが**ホームビデオのない時代**「ザ・ベストテンをリアルタイムで見る」ことが**僕の生きがい**だったのだ。ところが僕の親父は新しい音楽を全く受け入れない、超保守的なお固い九州男児だったので、親父が仕事から帰ってきてしまうと見れないのだ。何しろテレビは一家に一台、チャンネル権は親父にある、という我家だった。他の家は大半が子供にチャンネル権があったのだが…。頑固じじいが見るくだらないNHKの番組を見させられる自分はなんて不幸なんだ…!と思ったもので、それでも見れる時は食い入るように見たザ・ベストテンを通してある事に気づいた。つまり自分達で曲を作って歌う**シンガーソングライター**と他人に曲を作ってもらう、いわゆる**歌手**という存在。その2通りがあることに気づくのだった。そしてこの2つの流れがしのぎを削って名曲をどんどん世に送り出していた。好きだったのは**世良公則&ツイスト**、そして**ゴダイゴ**。初めて自分のお金で買ったシングルレコードは世良公則&ツイストの銃爪だった。この頃つちかったしっかりとしたメロディーラインが今でも僕の一つのテーマとなっているのです。 つづく